

排便から汚染はどう広がるか /ロウウイルスシリーズ4

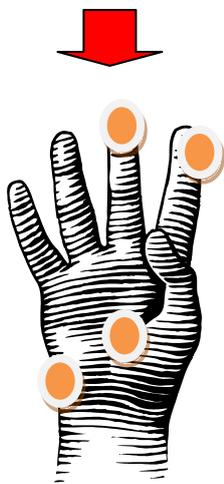
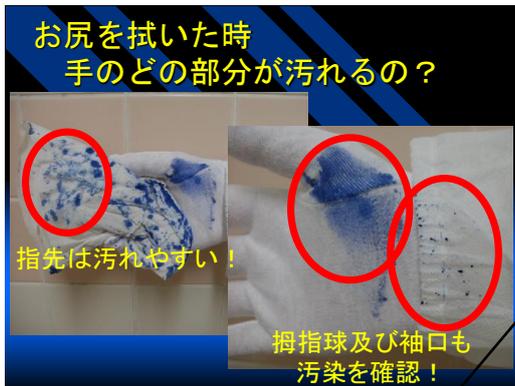
感染者の排便 100gで

100 億個以上のウイルスが便器に!!

便の跳ね返りが便座に付着



一滴に 1,000
~10,000 個



感染者の後に
使用する健康
者も感染の危
険性が増しま
す。



多くの施設では身繕いの後に手を洗うところが多いので、着衣やレバー、ペーパーホルダーの汚染はなかなか防げません。

どうすれば汚染の拡大を防げるのか・・・困難な課題

1. トイレの改善(実際はこのような施設改善は難しい)



2. 排便時、使い捨て手袋を使用する。

使用するペーパーを採り置いておく。お尻を拭く前に手袋をはめ、お尻を拭いた後、蓋を閉め、手袋をはずし（この方法でも手袋をとる時、手指が汚染される場合があるので、注意する。）水を流し、その後身繕いをする。

（ただし、お尻全面について便のはねかえりにいるウイルスの一部はお尻に残ります）

3. 不顕性感染者を掴む努力とトイレの消毒と排便管理

感染者がトイレで排便すると、直ちにトイレを消毒しないと、従事者間で感染が拡大します。ノロウイルスの場合感染者であるか否かを判断するのは、なかなか困難です。

ウイルスは、感染した細胞でウイルス自身のコピーを作り、結果的には感染した細胞の機能に障害を与えます。同時に人間の免疫の働きで感染拡大を防ぐため、サイトカイン（主としてインターフェロン）が放出されます。また、感染した細胞はT細胞やNK細胞で破壊されます。こうした免疫反応は発熱などの症状を引き起こします。

顕著な下痢・嘔吐が無いまでも、突然起こった胃の気持ち悪さ、食欲不振と微熱程度の発熱があればノロウイルス感染を疑い、下痢が無いようであれば、念のため症状が治ってもしばらくの間は家での排便し、排便後シャワーを浴びて出勤する。職場のトイレで排便はしないなどの対応をとりましょう。排便を管理することが予防上重要になります。

37℃を基準に体温測定と胃の症状を組み合わせた健康チェックを行いましょう。